

第5回 「森の草本類の特徴と 草刈を学ぼう（機械刈り・座学）」

日時：令和7年9月20日（土） 9：30～12：30

場所：練馬産業会館



ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

公共の緑地で、刈払機を使用した草刈りを行うために必要な「法令に基づく安全衛生教育」として、刈払機種、使用上の確認・注意事項、安全管理、振動障害、関係法令を学びました。

講座の様子



▲刈払機の説明



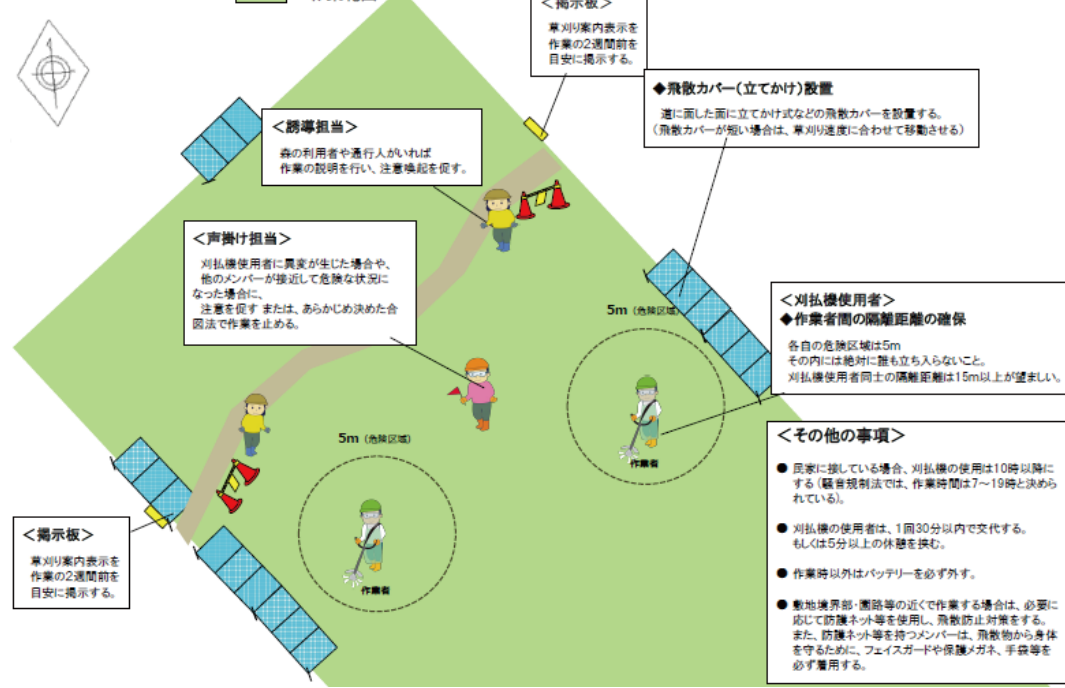
▲刈払機の使い方の説明



▲講義テキスト

実習地（こどもの森緑地）の作業手順の説明図

作業手順の説明図(例) :作業範囲



▲実習地（こどもの森緑地）



▲刈払機とその他備品

安全管理のポイント「隠れた切り株や障害物」

次回のねりまの森維持管理コースの実習地である「こどもの森緑地」には切り株等がたくさんあり、それらは草や落ち葉などで隠れていることが多いです。実習で使用する刈払機はナイロン製であるため、講義で学んだような、キックバックは発生しないかと思いますが、金属性などのキックバックを起こしやすい刈払機を使用する機会がありましたら、歯の方向や周りに十分注意してご使用ください。

また森には切り株などの障害物だけでなく、空き缶やビニール袋などのゴミが落ちています。それらを草刈り機が巻き込んでしまったり、つまずいてしまうと事故につながる可能性があります。森で活動する前には、まずゴミ拾いを行い、活動場所等の確認、作業計画をたてるようにしましょう。

※キックバックとは：回転中の刈刃が樹木等の障害物に当たって刈刃の回転方向の反対側へ跳ね返ること。

みどりのまちづくりセンター

講師からのメッセージ（技術技能講習センター）

「草を刈る」ただそれだけの為に色々と学ばなければならない事があります。労働安全衛生法や安全衛生規則、機械についても日常では使わない言葉がいっぱいありました。バッテリーを取り付けてスイッチオン！そんな簡単に考えてはいけません。手に持った鎌から充電式の刈払機になり、危険は手元からだいぶ離れてましたが、「高速回転する凶器」を手に入れ、周囲を注意する必要があります。自分も他人も守るため、常に安全を第一に考えた作業をお願いします。

さて、今回の座学では充電式且つナイロンコードを使用する刈払機に特化した形で行いました。どうすれば安全なのか、どうして危険になるのか、実践を伴わずやや理解し難い部分もありました。しかしながら皆様の学習意欲は非常に貪欲で、鋭い質問もいただきました。大変手応えを感じやり甲斐のある講習でした。

次回の実習では座学で学んだ事の実証や、実際の草刈りの練習をしていただきます。楽しい講習にしましょう！